

日本オーディオ協会事業計画概要 『市場創造を目指して』

2016年6月8日

一般社団法人 日本オーディオ協会

1 基本方針

『国内における新たなオーディオ市場の創造を図る』

2 基本戦略

(1) ハイレゾにより新たなオーディオシーンを創造する。

- ① ハイレゾ新カテゴリー商品開発への啓発と訴求。
- ② 現状カテゴリーのハイレゾ対応化による市場創造。
- ③ アナログ、ピュアを含む試聴スタイル多様化による市場創造を図る。

(2) 四つの事業軸と顧客セグメンテーションによる市場創造を図る。

- ① アナログからハイレゾまでの融合化。
- ② モバイルからカー・ホームまでの融合化。
- ③ オーディオからビジュアルまでの融合化。
- ④ ビギナーからマニアまでの融合化。

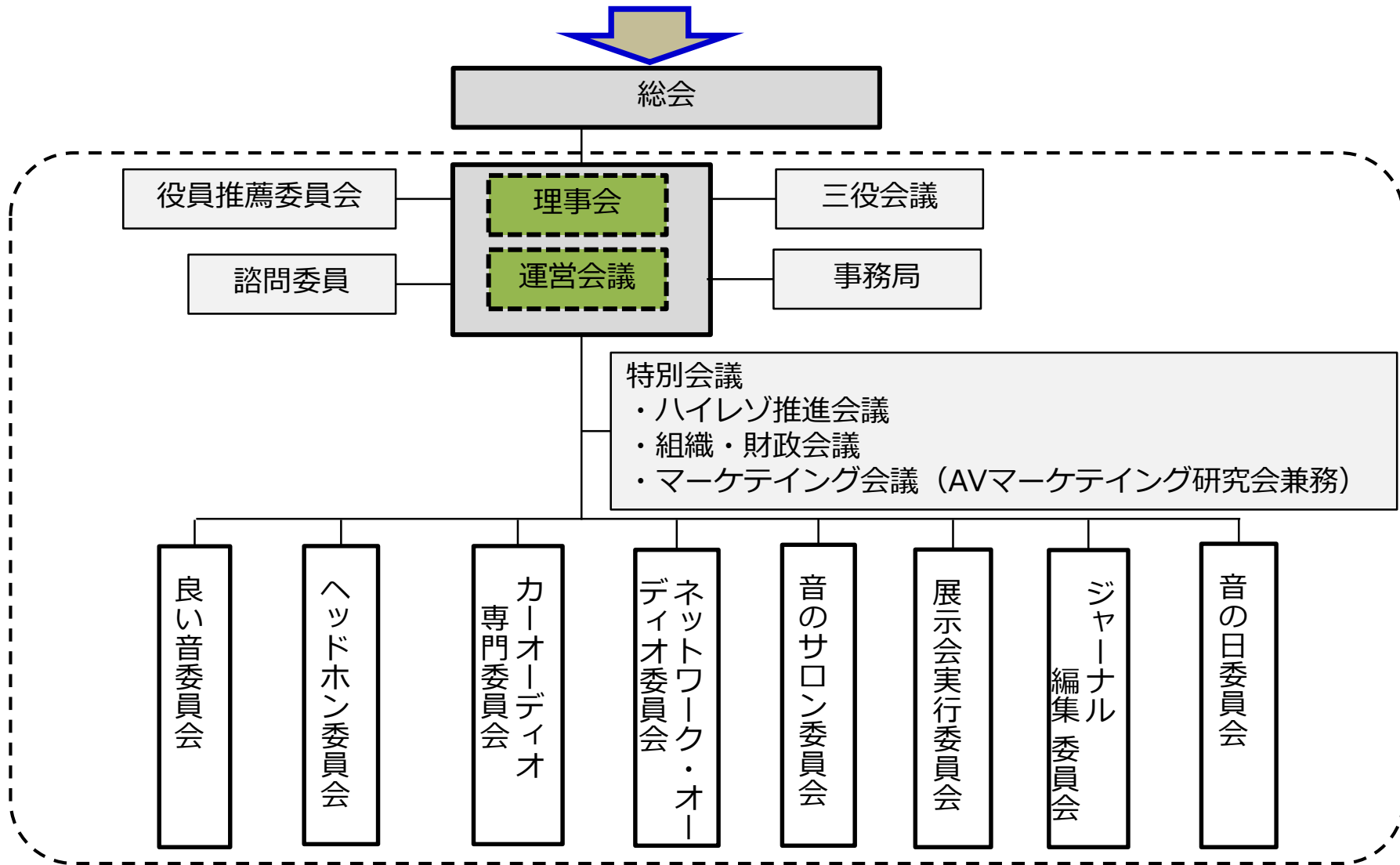
(3) 新たな「オーディオの季節」を構築する。

- ① 「オーディオの春」市場構築（春は新顧客開発とオリンピック需要開拓）

(4) 新たな顧客接点を構築する。

- ① 新展示会の開催と地方展示会への支援。
- ② JASカンファレンスの開催とJASジャーナルのオープン化。

すべてはお客様、会員様、ステークホルダー様のためにある。



全ての委員会活動は、健全な国内オーディオ市場の創造を図る。

(1) 展示会実行委員会

「市場創造に相応しい“新しい展示会”の企画開催と地域支援策の推進を行う」

(2) 音のサロン委員会

「企業の枠を超えた“ハイエンド試聴会”、“女性層など入門者試聴会”の企画開催を行う」

(3) ネットワーク・オーディオ委員会

「ハイレゾ時代に相応しい“ネットワーク・オーディオの提案”と用語整理及び解説版の提案」

(4) カーオーディオ専門委員会

「車載機器のハイレゾ化提案による市場創造を図る」

(5) ヘッドホン委員会

「ハイレゾ化対応測定基準の解説浸透と測定スキームの確立、及び頭外定位の確立を図る」

(6) 良い音委員会

「ハイレゾ時代に相応しい“良い音の条件”の指針確立と啓発による健全な市場構築を行う」

(7) JASジャーナル編集委員会

「技術広報紙として公開化と、広範な技術紹介による技術者及び企画者の啓発を行う」

(8) 音の日委員会

「文化事業として引き続き“音の匠”の発掘と、音楽録音に対する学生の啓発事業を推進する」

(9) プロジェクト・会議体・事務局

「カンファレンス開催、ハイレゾ定義整理、ホームシアター市場研究、会員会費基準を見直す」

『展示会を市場創造のできる顧客接点に変革する四つの視点』

今までにない『OTOTEN』

時期の変更
秋→春へ

場所の変更
顧客を集める→
顧客のいる場所

市場創造展示会
“マイ・リスニングスタイルを探す旅へ”
ご案内します

顧客の変更
ハード嗜好+
音楽リスナー

内容変更
顧客参加型リス
ニングジャーニー
へ

“ご出展予定の皆様を、新しい展示会へご案内いたします”